

《グラビア》

プール水泳・音楽大好き

《序文》

附 小 の 入 学 式 野口哲子 (1)

主題 学習力を育てる
——話す力・聞く力——

学習力を育てる学校 中谷内政之 (4)

話す意欲・聞く意欲が高まる環境 梶田 萬理子 (10)

しぶとく結び合っていく子ども 金津 琢哉 (16)

◆子ども記 育ってきた子ども達に
支えられて 谷岡 義高 (22)

実践

忍者の体育学習で育つ 子どもに学ぶ(四年) 岩井 邦夫 (24)

基礎基本を自ら習得する「教科書算数」
——割合を使って問題を解こう(五年) (そのI)—— 日和佐 尚 (30)

幼小の交流活動 「なかよしになろう会」(II) 堀本 三和子 (36)

幼小をつなぐ学びを考える
——五歳児・一年生の合同学習の取り組みから—— 阪本 一英 (42)

「聞く」・「聴く」から「訊く」・「利く」へ 野崎 宣器 (48)

◆まほろば 奈良の自然に魅了されて 太田 誠 (54)

《特別寄稿》

なぞることをまねること 天ヶ瀬 正博 (56)

——学びはかいて世界に対する認識と行為につながるか——

《実践寄稿》

子どもの自主性・主体性を伸ばす「総合的な学習」 平木 充代 (62)

——公立小学校での《なかよし集会》の実践——

《グラビア》
体育的な生活・理科的な生活

《序文》

夏休み最後の日曜日 野口 哲子 (1)

主題

学習力を育てる

— 伝え合う力・聞き合う力 —

学習力を育む聴く力 都留 進 (4)

「伝え合う力・聞き合う力」が育つには 小幡 肇 (10)

心を伝え合う・思いを聞き合う 堀本 三和子 (16)

❖ 子ども記 「びみょう」な子どもたち 矢田 留美子 (22)

実践

くらしと道 (V) 廣岡 正昭 (24)

— 五年生エネルギーの道を通る「しと」学習そのこ —

メタリク造形に取り組もう(六年) 嶋守 哲夫 (30)

「東京しごと合宿」紀行 谷岡 義高 (36)

— 奈良の子どもの学習場の可能性 —

学習力を育てる算数的学習法 太田 誠 (42)

《共同研究》

幼稚園における保育と評価 辻岡 美希 (48)

松田 登紀

❖ まほろば 音楽室への訪問者 植村 則子 (54)

— 子どもの休み時間 —

《特別寄稿》

多文化教育学校をつくる 森茂 岳雄 (56)

— 文化的多様性を尊重する学校づくり —

《実践寄稿》

くらしとつながる表現活動 野垣内 宗 (62)

— 地域の特徴を生かした総合的な学習の時間の実践 —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫

《グラビア》

わくわくする体験(一年生)

《序文》

秋晴れの運動会 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
——個が高まり合う集団づくり——

学習力を育む対話する力 都留 進 (4)

個と集団の学習力を 岩井邦夫 (10)

育てる演劇表現の教育

集団形成についての ベースコンセプト 野崎宣器 (16)

子ども記 さつまいもと絵本作り 小幡 肇 (22)

実践

基礎基本を自ら習得する「教科書算数」

——割合を使って問題を解こう(五年)《そのⅡ》——

日和佐 尚 (24)

地球温暖化を考えるⅢ(高学年・けいこ理科)

——二酸化炭素の発生と性質——

杉澤 学 (30)

その子らしさが息づく

評価のあり方

金津 琢哉 (36)

一年生の子どもの体育生活を育てる

——一年生、一年間の取り組みから——

阪本 一英 (42)

保健室の余白

矢田 留美子 (48)

◆まほろば おばさん女子大生
夏のキャンパスを行く

堀本 三和子 (54)

《特別寄稿》

評価の観点を正しく理解し、
確かな学力を育てる

野田 敦敬 (56)

《実践寄稿》

内容の深化・拡充をめざす理科の授業づくり

——もののあたたまり方の学習から——

中田 晋介 (62)

《グラビア》

風物

《序文》

附小のなかよし音楽会 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
— 学び合う力 —

自律的学習を促す「学び合い」 廣岡正昭 (4)

造形学習における学び合い 嶋守哲夫 (10)

総合的な学習で育つ「学び合う力」 阪本一英 (16)

❖ 子ども記 情緒力を育む
「みつけるくらし」 金津琢哉 (22)

実践

「大きなかぶ」(一年) 梶田 萬理子 (24)

— 一人ひとりの言葉が具体的になるよう —

「子どもは子どもによって育つ」現場 小幡 肇 (30)

— 「子どもの未来、持っている力とあなたを同時に育てる」
(平成16年度二年月組の子ども) —

「さんぽ」で育った子ども達 谷岡義高 (36)

— 六年間のしごと学習には、ますさんぽがあった —

個性を生かし合う授業 太田 誠 (42)

《共同研究》

幼稚園の保健室ってどんなところ? 福西 まゆみ (48)

❖ まほろば 来し方、26年 岩井邦夫 (54)

《特別寄稿》

〈聴く〉という〈強さ〉を 岩崎紀子 (56)

育む授業空間

《実践寄稿》

子どもがつくる算数科学習 松笠勝也 (62)

— コミュニケーションのなかから豊かな学びを —

《グラビア》

卒業式・スキー合宿

《序文》

附 小 の 卒 業 式 野口 哲子 (1)

主題

学習力を育てる
— 学びを見通す力・振り返る力 —

学びの連続性を考える 岩井 邦夫 (4)

けいこ学習を見通す力 杉澤 学 (10)

— 理科的分野を中心として —

心をつなげるレイテントカリキュラム 太田 誠 (16)

◆子ども記 子らが残して行った宝 中谷内 政之 (22)

実践

かにをえがこう 都留 進 (24)

自分たちで進める「教科書算数」 日和佐 尚 (30)

— 平均とその利用 (六年) —

「トマト物語」(二年) 堀本 三和子 (36)

— しごと「食べものたんけん」の実践(一) —

みつげるくらし(一年) 金津 琢哉 (42)

『おながくのおみせ』— 総括編 — 野崎 宣器 (48)

◆まほろば 今度、総合的学習の意義を見直そう
— 学力低下論議をめぐって — 廣岡 正昭 (54)

《特別寄稿》

センス・オブ・ワンダーから 村上 忠幸 (56)

静かにはじまる探究学習

話の種を持っているよ! 小池 正彦 (62)

— 虫大好き 立場川 大好き —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫

《グラビア》

2年と5才児の交流

《序文》

桜が満開の始業式 野口哲子 (1)

主題

学習力を育てる
——自らかかわる力——

子どもの主体性の育成と学習法の実践

——私たちの、この一年間の総括——

中谷内政之 (4)

「自らかかわる力」の育成

日和佐尚 (10)

学年だより「まほろば」

——我が校の「学習法」を親に伝えた六年間の記録——

谷岡義高 (16)

◆子ども記

スキー合宿で育った力

阪本英 (22)

実践

しごと学習のしめくくり

——六年生「奈良の道を考える」の実践——

廣岡正昭 (24)

「たぬきの糸車」を読もう(一年)

梶田萬理子 (30)

美しさみつけ

——4年生 造形——

嶋守哲夫 (36)

歴史学習を取り扱う

「けいこ」学習への挑戦

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習

——歴史教の研究から、風力発電の研究 前編(五年生) 理科——

杉澤学 (48)

◆まほろば まほろば最終章

——大和は国のまほろば私感——

都留進 (54)

《特別寄稿》

図画工作科の教科性と方法の再検討

——「ゆとり教育」の見直しを機に——

草尾和之 (56)

《実践寄稿》

追究する子どもが育つ歴史学習を目指して

——6年社会科「一枚の絵から歴史をみる」の実践より——

遠藤拓海 (62)

会員のひろば (68)

あとがき (71)

表紙・カット絵：嶋守哲夫

《グラフィア》

プール水泳・臨海合宿

《序文》

白浜での臨海合宿 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
— 読みを高める力 —

各種能力の指導系統表 中谷内政之 (4)

— これまでの経緯と改訂のための方向性 —

自力で読む子どもに 楢田 萬理子 (10)

言葉の主體的吟味に誘う日常の指導 金津 琢哉 (16)

— 各種能力指導系統見直しへの提案 —

子ども記 現代子ども気質 都留 進 (22)

— うちの学級の子らは —

実践

五月流豆忍者修業の子どもの学び(五年) 岩井 邦夫 (24)

— 十一月十日の忍者体育 —

低学年なかよし集会の世話と 小幡 肇 (30)

三年月組の子どもの学び

「米のへんしん」(二年) 堀本 三和子 (36)

— しごと「食べものたんけん」の実践(II) —

子どもと創る総合的な学習の道筋 阪本 英 (42)

子どもたちとともに 太田 誠 (48)

培ってきた授業の文化

◆ あのととき… 「子どもが進める
算数学習」の裏話 日相佐 尚 (51)

特別寄稿

国語科における「語り合ひ・聴き合ひ」という学習活動の意義 大内 善一 (56)

— 広島市立南小学校・佐藤康子教諭の実践を手掛かりとして —

実践寄稿

音楽の力を学校づくりに 松本 寛子 (63)

— みんなで歌うって楽しいノリ —

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫

《グラビア》

プール水泳納会・低学年なかよし集会

《序文》

プール水泳納めの会 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
— 数理の学習を自律的に学ぶ力 —

新「各種能力の指導系統表」作成に当たって

都留 進 (4)

— 改訂への共通理解に向けて —

数理の学習を自律的に学ぶ力

日和佐 尚 (10)

— 第一学年の指導のあり方 —

教師が自律する自律的学習法

太田 誠 (16)

◆子ども記 憧れの大運動場 堀本 三和子 (22)

実践

わたしたちの奈良ものがたり(I)

廣岡正昭 (24)

— 四年生「しごと」の実践より —

感じ合い、響き合う子どもたちに

梶田 萬理子 (30)

— 「白いぼうし」(四年) —

子ども達が自分の道筋で学ぶ体育学習

阪本 英 (36)

— 希望の運動ランド(五年)の実践より —

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習

杉澤 学 (42)

— 風速の研究から風力発電の研究(後編)(五年)の理科 —

テキスト化した「語り」による新しい授業研究

金津 琢哉 (48)

— 幼稚園と小学校との臨床教育的授業研究の報告 —

◆あのととき… 20代の情と熱 小幡 肇 (51)

《特別寄稿》

数理を語り合う算数学習

宇佐見 香代 (56)

— 確かな力を培う学習法の探究 —

《実践寄稿》

個性的追究を育む授業を求めて

荒 雅樹 (62)

— 「川とノリオ」(六年)の実践 —

《グラビア》

なかよし音楽会・校外学習

《序文》

日記

野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
——理科学習で身につけた基礎的な力——

理科の歴史的考察と展望

——先達・神戸伊三郎に学ぶ——

中谷内政之 (4)

けいこ理科の学び方を考える

——学習法による理科学習の可能性——

谷岡義高 (10)

低学年の子どもに育てたい科学的生活力

——天然物や人工物の持ち込みによる学び合いを中心として——

杉澤学 (16)

子ども記

どこまでも割り切れない
——不透明な確率教育の仕事——

金津琢哉 (22)

実践

凹の造形「牛乳びんのへんしん」

——凹から凸への子どもの楽しい発想転換——

都留進 (21)

街角の算数

——子どもによる教材開発研究(六年生の実践から)——

日相佐尚 (30)

三年月組の子どもの学習活動

【平成17年度】

小幡肇 (36)

三年生の合宿活動をつくる

——曾爾高原合宿——

堀本三和子 (42)

自分自身で掴む確かな力

太田誠 (48)

◆あのととき… 「生活科」そして
「総合的な学習」の誕生

廣岡正昭 (54)

《特別寄稿》

これからの理科学習で

つけたい基礎的な力

角屋重樹 (56)

《実践寄稿》

子どもと共に理科の学習を創る

——6年水溶液の性質を通して——

榊岡壽江 (62)

会員のひろば (68)

あとがき (71)

表紙・カット絵：嶋守哲夫

《グラビア》

歩走練習・よく見て描こう!

《序文》

青空の下での歩走練習納会 野口 哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
——身近な生活や社会的事象をとらえる力——

子どもの社会認識の発展 廣岡 正昭 (4)

「しど」「けいこ」「なかよし」における「各種能力の
指導系統表(すじ道)」の改訂・作成にあつての考え 小幡 肇 (10)

生活を見つめ、自らの生活を拓く力を育てる
——家庭生活的領域の指導のすじ道を考えて—— 堀本 三和子 (16)

子ども記 心の絆 杉澤 学 (22)

実践

六月流豆忍者修業(六年) 岩井 邦夫 (24)

説明文に親しむ
——「かむこと」の力「アップとルースで伝える」(四年)—— 梶田 萬理子 (30)

街角の算数
——「ランドルト環」の研究(六年生の実践)—— 日和佐 尚 (36)

学びの自己組織化に関する研究 金津 琢哉 (42)

表とグラフでデータを整理する
——生活力キヌラにおける各種能力の指導系統表づくりを中心に—— 谷岡 義高 (48)

——科学的に自然を探究する理科学習を目指して——

◆あのととき: 私の中の原風景 中谷内 政之 (54)

《特別寄稿》

「コミュニティ中心」のデューイ実験学校 中野 真志 (56)

——子どもの社会的な興味とオキュペーション——

《実践寄稿》

子どもたち一人一人がともに 南 尚美 (62)

——よりよく生きようとする姿を求めて——

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵: 嶋守哲夫